暮らしを楽しむ豆知識

何でも燃やせて いつでも暖かい

―― 給湯・風呂・床暖房に活躍するプロパンガス ――

編集 部

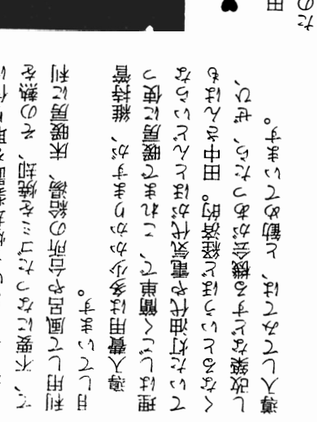
大阪で自然養鶏を営む田中成久さんの家は、家の改築をきっかけに、ウッドキャビネットにいっぱい収納装置を取り付けて、不要になった風呂や古所の給湯、床暖房に利用している。しかし暖房の人で、習いごとの調子が悪くなってしまいます。

＊おけがあるものを燃やす薪ストーブ暖房

ウッドキャビネットの引き出しに、おけがあるものを燃やす。また、ストーブの上に、ヤカンを置いて、お湯を沸かす。

＊いろいろ材料を切らないようにする風呂

呂だ。田中さんの経験に使って、



田中正子さん
床暖房はのどにもよい

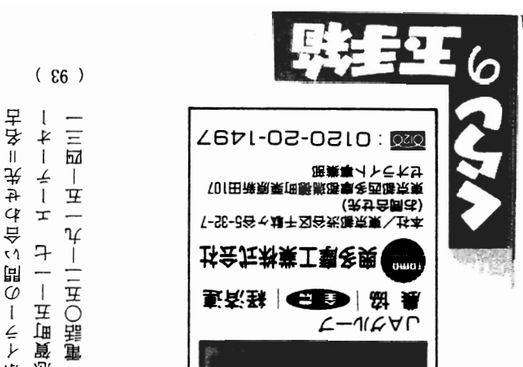
ウッドストーブ
田中成久さん

先生をかねる紹介されたのが最初でした。そしてして一年の十月に家の改築の際に導入したのです。

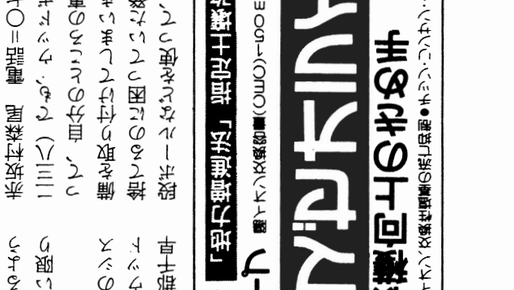
いま二回目の冬を迎えようとしています。

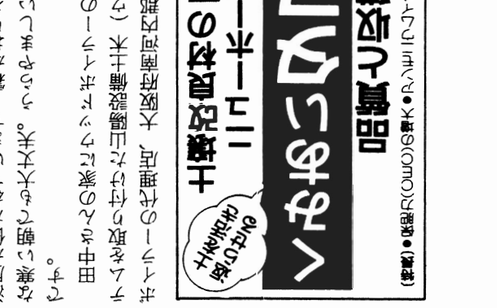
田中家にとってこれなくて、なくてはならないものとなっています。

現在、ストーブを利用して、台所の給湯用、風呂、床暖房（食堂）、来客の間、子供部屋二つ、座敷の五部屋）に使っています。家



上部貯湯槽の中、熱交換機がグルグルぬけっている

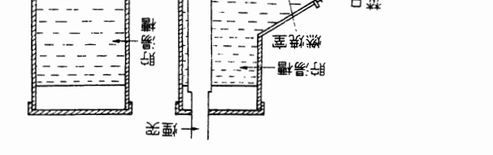




◆ウッドボイラーの仕組み

いろいろボイラーの構造は、断熱材が、囲まれた水槽の中にすっぽりと燃焼室がいっている。

ばよいのである。燃焼を想像して、五段の部分分を除いて、燃焼室の周りすべてに水がまわっ



ウッドボイラーの構造図（酒井原図）
断熱材で囲まれた水槽の中にすっぽりと燃焼室が入っている形なので熱効率が高い

家の評判は上々で、床暖房の入っている家の間には、いつも家族が集まってゆったり楽しい団らんの場になっている。

ようです。

◆ウッドボイラーの構造

ウッドボイラーの構造は、断熱材で囲まれた水槽の中に、燃焼室、貯湯槽、煙突口、空気口、水口、断熱層、貯湯槽、燃焼室